

新・方法 報告書

(金融商品取引法第24条第1項に基づかない、新・方法主義に基づく報告書)

自 2010年9月4日 至 2019年9月4日

新・方法 (平間貴大、馬場省吾、皆藤将)

【表紙】

【提出書類】 新・方法 報告書

【根拠条文】 根拠なし

【提出先】 機関誌「新・方法」配信登録者

【提出日】 2019年9月4日

【活動期間】 自 2010年9月4日 至 2019年9月4日

【団体名】 新・方法

【英訳名】 New-Method

【構成員氏名】 平間貴大、馬場省吾、皆藤将[2012年2月18日から]、中ザワヒ
デキ[2012年2月18日まで]

【電話番号】 該当次項はありません

【所在の URL】 <http://7x7whitebell.net/new-method/>

【構成員 Twitter アカウント】 @qwertyu1357 @shogobaba @kaido1900[2012年2月18日から]
@nakaZAWAHIDEKI[2012年2月18日まで]

【縦覧に供する URL】 http://7x7whitebell.net/new-method/ir_j.pdf

目 次

1.	【新・方法の概況】	1
1.1.	主要な活動指標等の推移	1
1.1.1.	配信作品数	1
1.1.2.	機関誌発刊号数	1
1.1.3.	イベント出演数	1
1.1.4.	機関誌号別 Togetter 閲覧数	1
1.1.5.	ウェブサイト閲覧数	3
1.2.	沿革	4
1.2.1.	グループ「新・方法」活動沿革	4
1.2.2.	グループ「新・方法」による宣言一覧	4
1.2.3.	グループ「新・方法」によるEメール配信作品一覧	5
1.3.	グループ「新・方法」及び現構成員の活動内容	6
1.3.1.	グループ「新・方法」活動内容	6
1.3.2.	グループ「新・方法」現構成員の概要	7
1.3.3.	SNSの活用	8
1.3.4.	会合	8
1.4.	グループ「新・方法」構成員の状況	8
1.4.1.	国別所属構成員数	8
1.4.2.	構成員男女比率	9
1.4.3.	グループ「新・方法」構成員の状況	9
1.4.4.	英語監修	9
1.4.5.	機関誌編集者	9
1.5.	「方法」の概要と「新・方法」との関係性	10
1.5.1.	グループ「方法」の概要	10
1.5.2.	グループ「新・方法」との関係性	10
2.	【活動の状況】	11
2.1.	活動方針、活動環境	11
2.1.1.	グループ「新・方法」の活動の基本方針	11
2.1.2.	活動上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標	11
2.2.	活動等のリスク	11
2.2.1.	経済環境	11
2.2.2.	為替レートの変動	12
2.2.3.	作品制作材料の供給による影響	12
2.2.4.	特定の発表媒体への依存	12
2.2.5.	知的財産権	12

2.2.6.	作品の欠損.....	12
2.2.7.	新作品発表力.....	12
2.2.8.	価格競争.....	12
2.2.9.	自然・人的災害による影響.....	12
2.2.10.	構成員欠員.....	13
2.3.	活動上の重要事項.....	13
2.3.1.	これまでに締結した契約.....	13
2.3.2.	脱退及び加入した構成員.....	13
2.4.	グループ「新・方法」の活動に関する状況分析.....	13
2.4.1.	宣言発表数の減少.....	13
2.4.2.	作品発表数の減少.....	13
2.4.3.	機関誌「新・方法」の継続的な配信.....	13
2.5.	未来に関する決定事項.....	13

1. 【新・方法の概況】

1.1. 主要な活動指標等の推移

1.1.1. 配信作品数

グループ「新・方法」はEメール配信によって作品を発表しています。以下は年ごとのEメール配信作品数の表です。

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
配信作品数	2	7	13	2	5	2	0	0	1	0

1.1.2. 機関誌発刊号数

グループ「新・方法」は、寄稿と作品からなる機関誌「新・方法」をEメールにて、2010年10月から毎月4日配信、2013年10月から隔月4日で配信しています。(2015年4月「新・方法」第43号のみ8日に配信。2019年5月現在で全67号) 以下は年ごとの機関誌発刊数の表です。

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
機関誌 発刊号数	3	11	11	10	6	6	6	6	6	2

1.1.3. イベント出演数

グループ「新・方法」は、多数のイベントに出演しています。以下は年ごとのイベント出演数の表です。

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
イベント 出演数	3	7	5	7	1	2	2	1	0	0

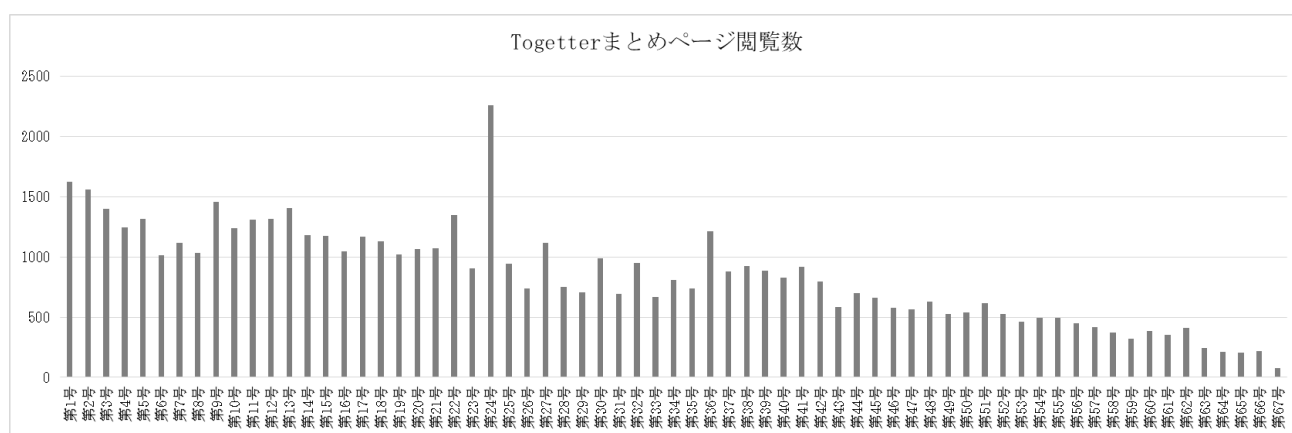
1.1.4. 機関誌号別 Togetter 閲覧数

グループ「新・方法」は、機関誌を配信した時にTwitterにて配信告知をし、そのtweetをTogetterでまとめています。以下は、各機関誌のTogetterの閲覧数の表です。

機関誌号数	Togetter まとめページ閲覧数
第1号	1625
第2号	1559
第3号	1400
第4号	1245
第5号	1313
第6号	1015
第7号	1118
第8号	1032
第9号	1458
第10号	1242

第 11 号	1307
第 12 号	1315
第 13 号	1403
第 14 号	1182
第 15 号	1174
第 16 号	1046
第 17 号	1171
第 18 号	1127
第 19 号	1019
第 20 号	1065
第 21 号	1075
第 22 号	1351
第 23 号	908
第 24 号	2259
第 25 号	944
第 26 号	739
第 27 号	1119
第 28 号	749
第 29 号	706
第 30 号	989
第 31 号	692
第 32 号	951
第 33 号	666
第 34 号	808
第 35 号	741
第 36 号	1213
第 37 号	878
第 38 号	922
第 39 号	886
第 40 号	825
第 41 号	920
第 42 号	795
第 43 号	584
第 44 号	697
第 45 号	662
第 46 号	575
第 47 号	562
第 48 号	628
第 49 号	529

第 50 号	541
第 51 号	618
第 52 号	524
第 53 号	460
第 54 号	492
第 55 号	496
第 56 号	452
第 57 号	420
第 58 号	374
第 59 号	323
第 60 号	387
第 61 号	355
第 62 号	410
第 63 号	241
第 64 号	213
第 65 号	203
第 66 号	218
第 67 号	77 (※)

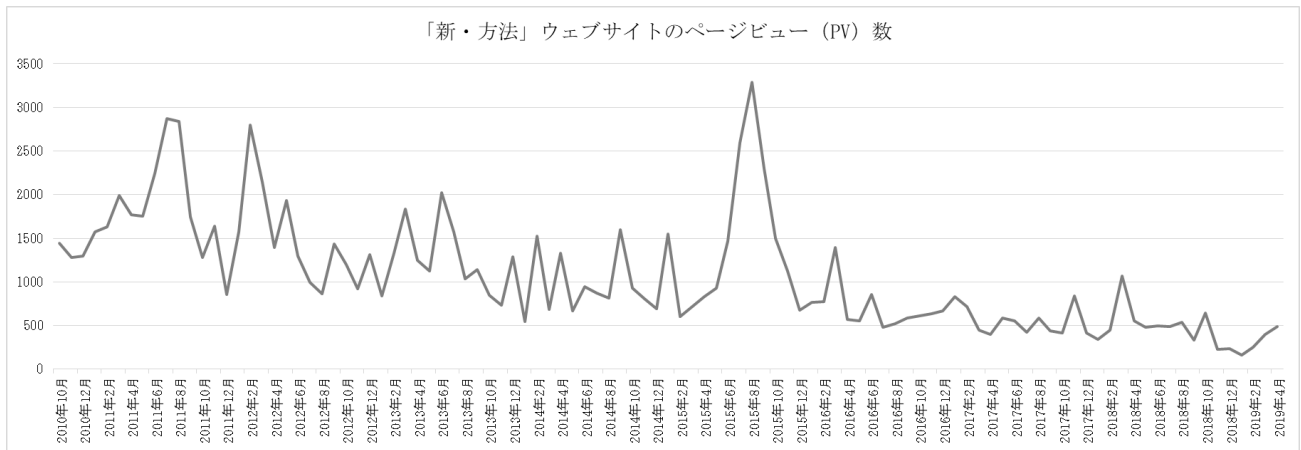


グラフ 1. 機関誌号別 Together まとめ閲覧数

(※) 4月8日集計時点の閲覧数

1.1.5. ウェブサイト閲覧数

以下はグループ「新・方法」公式ウェブサイト (<http://7x7whitebell.net/new-method/>) のページビュー数の推移実績グラフです。数値実績が細かいため、表の掲載は割愛します。



グラフ 2. 「新・方法」ウェブサイトのページビュー (PV) 数

1.2. 沿革

1.2.1. グループ「新・方法」活動沿革

- ・ 2010年9月4日、グループ「新・方法」発足、同日、「新・方法主義宣言」をメール配信
- ・ 2010年9月21日、初のメール配信作品発表（「為替介入」）
- ・ 2010年10月10日～10月20日、初の個展「新・方法 on 棚ガレリ」開催（東京・神保町「棚ガレリ」）、同日、機関誌「新・方法」第1号配信（寄稿：松下学）
- ・ 2012年2月18日、中ザワヒデキ脱退、皆藤将が加入、同日、イベント「新・方法の夜 VOL. 4 「新・方法から中ザワヒデキが脱退し、皆藤将が加入する」」開催
- ・ 2012年5月7日から5月13日の7日間にかけて作品「月曜日」～「日曜日」を毎日メール配信。多数のクレーム、配信停止希望の連絡を受ける
- ・ 2013年3月16日～4月27日、第2回個展「新・方法「5,849円」展」開催（愛知・名古屋「Gallery Ajito」）
- ・ 2015年7月25日～7月26日、第3回個展「新・方法 大個展 ～日曜大工～」開催（東京・三ノ輪「space dike」）
- ・ 2016年6月4日、機関誌「新・方法」第50号発刊

1.2.2. グループ「新・方法」による宣言一覧

以下はグループ「新・方法」が発表した宣言一覧です（日本語版のみ掲載）。

発表年月日	宣言名	URL
2010年9月4日	新・方法主義宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto_j.html
2011年9月4日	新・方法主義第二宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto2_j.html
2012年9月4日	新・方法主義第三宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto3_j.pdf
2013年9月4日	新・方法主義じゃんけん宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto_rps_j.html
2014年9月4日	新・方法主義第四宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto4/manifesto4_jpn.html

2015年9月4日	新・方法主義 S h i f t _ J I S 宣言	http://7x7whitebell.net/new-method/manifesto_sjis.html
-----------	-----------------------------	---

1.2.3. グループ「新・方法」によるEメール配信作品一覧

以下はグループ「新・方法」が発表したEメール配信作品です（日本語版のみ掲載）。

発表年月日	作品名	URL
2010年9月21日	為替介入	http://7x7whitebell.net/new-method/intervention_j.html
2010年12月3日	当せん金付証券の購入	http://7x7whitebell.net/new-method/lottery_j.html
2011年1月3日	初詣	http://7x7whitebell.net/new-method/hatsumode_j.html
2011年2月3日	鬼は外、福は内	http://7x7whitebell.net/new-method/oni_j.html
2011年2月28日	確定申告	http://7x7whitebell.net/new-method/fitr_j.html
2011年3月26日	災害支援ボランティアへの応募	http://7x7whitebell.net/new-method/adrv_j.html
2011年4月24日	豊嶋康子「運動／オッズ」	http://7x7whitebell.net/new-method/mo_j.html
2011年6月26日	鳩時計	http://7x7whitebell.net/new-method/hatodokei_j.html
2011年7月24日	海水浴	http://7x7whitebell.net/new-method/sea_j.html
2012年2月1日	苦行	http://7x7whitebell.net/new-method/austerities_j.html
2012年3月1日	苦行2	http://7x7whitebell.net/new-method/austerities2_j.html
2012年3月16日	名刺	http://7x7whitebell.net/new-method/namecard_j.html
2012年5月7日	月曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/monday_j.html
2012年5月8日	火曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/tuesday_j.html
2012年5月9日	水曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/wednesday_j.html
2012年5月10日	木曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/thursday_j.html
2012年5月11日	金曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/friday_j.html

		method/friday_j.html
2012年5月12日	土曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/saturday_j.html
2012年5月13日	日曜日	http://7x7whitebell.net/new-method/sunday_j.html
2012年7月7日	街頭清掃作戦	http://7x7whitebell.net/new-method/anonymous_j.html
2012年7月31日	測量	http://7x7whitebell.net/new-method/measurement_j.html
2012年12月23日	実験	http://7x7whitebell.net/new-method/experiment_j.html
2013年2月11日	新・方法オークション	http://7x7whitebell.net/new-method/auction_j.html
2013年6月16日	早起き	http://7x7whitebell.net/new-method/earlyrising_j.html
2014年2月8日	雪	http://7x7whitebell.net/new-method/snow_j.html
2014年2月10日	ゴーストライター	http://7x7whitebell.net/new-method/ghostwriter_j.html
2014年6月1日	競馬観戦	http://7x7whitebell.net/new-method/horse_j.html
2014年6月29日	山手線一周	http://7x7whitebell.net/new-method/yamanote_j.html
2014年7月30日	キャッチ・ザ・インバーダー ～人工衛星から発信される電波をキャッチするための準備～	http://7x7whitebell.net/new-method/invader_j.html
2015年7月20日	ヨット	http://7x7whitebell.net/new-method/sailboat_j.html
2015年9月9日	Fwd: 量子詩第1000番	http://7x7whitebell.net/new-method/quantum_j.html
2018年7月7日	「展示」してもらえる!	http://7x7whitebell.net/new-method/bicycle_j.html

1.3. グループ「新・方法」及び現構成員の活動内容

1.3.1. グループ「新・方法」活動内容

◎作品発表

グループ「新・方法」は、主にEメール配信によって作品発表を行っています。他、個展の開催時にはEメール配信作品の関連物の出品を行うこともあります。その他、グループ展にEメール配信作品の関連物を出品、また作品の寄贈等も行っています。

◎イベント出演時のパフォーマンス

グループ「新・方法」は、イベントに出演し、パフォーマンスを行います。パフォーマンス時、構成員3名の服装は、平服、フォーマル、その他衣装を用意し揃える場合があります。また、イベントにおいてトークを行います。イベント出演時のパフォーマンス及びトークはこれまで日本語で行っています。ただしお知らせについては、日・英両言語で合計2通をEメール配信しています。Twitter上の告知文面は日本語でtweetしています。

◎機関誌発刊

グループ「新・方法」は2010年10月4日、寄稿と作品からなるEメール機関誌「新・方法」第1号を配信しました。それ以降毎月4日、2013年10月から隔月4日に機関誌「新・方法」をEメール配信しています。2019年4月現在で全67号を配信しました。これまで機関誌「新・方法」は全て、日・英両言語で合計2通配信しています。

◎宣言発表

グループ「新・方法」は2010年9月4日に「新・方法主義宣言」を発表しました。以降2019年4月現在、合計6個の宣言を発表しています。各宣言はEメール配信し、ウェブサイトでも閲覧が可能です。

「新・方法主義宣言」(2010年)、「新・方法主義第二宣言」(2011年)、「新・方法主義じゃんけん宣言」(2013年)は日本語と英語がそれぞれ同じ意味として対応し、日・英2言語で発表しています。

「新・方法主義第三宣言」(2012年)は日本語と英語の意味内容が異なるものの、対応関係があるものとして日・英2言語で発表しています。「新・方法主義第三宣言」はPDFをウェブサイトに掲載し発表しています。

「新・方法主義第四宣言」(2014年)は、全40言語が全て対応するものとして発表しています。

「新・方法主義Shift__JIS宣言」(2015年)は対応する英語版の宣言として「New-Methodicist ASCII Manifesto」を同時に発表しています。

◎公式ウェブサイトの運営

グループ「新・方法」は自身の公式ウェブサイトを運営しています。ウェブサイトには各宣言、Eメール配信作品、お知らせ、過去のパフォーマンス・出演・出品等の記録及び、機関誌「新・方法」のバックナンバー、「新・方法」3名のTwitter記録(Togetter)へのリンクを掲載しています。ウェブページは全て日・英両言語を用意しています。(ただし「新・方法主義第四宣言」は40言語で書かれています。)

グループ「新・方法」のウェブサイトは構成員である馬場省吾の個人サイトの配下に属しており、馬場省吾によって作成・更新がされています。ただしグループ「新・方法」の管理としています。

1.3.2. グループ「新・方法」現構成員の概要

新・方法の現構成員は3名です。各構成員の概要は次の通りです。新・方法の構成員はそれぞれ個人で作品発表・研究・イベント主催・冊子発刊等の活動を行うことがあります。また個々人の生活基盤を持ち、趣味の活動を行うこともあります。

・平間 貴大(ひらま たかひろ) Takahiro Hirama

新・方法主義者。1983年2月23日、茨城・水戸生まれ。血液型:B型、性別:男性、身長:168cm、体重:52kg。

グループ「新・方法」の他、写真、絵画、音楽などを制作。主な展覧会として2010年8月、個展「第1回平間貴大初レトロスペクティブ大回顧展」、「『反即興演奏としてのマラン・メルセンヌ+ジャン=ジャック・ルソー』『10年遅れた方法音楽としてのマラン・メルセンヌ+ジャン=ジャック・ルソー』同時開催展」、2019年

「パラレルキョンシーズ」。2015年6月より野方ハイツメンバー。

WEBサイト：<http://qwertyupoiu.archive661.com/>

・馬場 省吾 (ばば しょうご) Shogo Baba

新・方法主義者。1988年9月27日、神奈川県・横浜生まれ。血液型：O型、性別：男性、身長：170cm、体重：53kg。

グループ「新・方法」、「実験音楽とシアターのためのアンサンブル」メンバー。個展：2011年「楽譜の物質形式について」、2015年「一本道の迷路、正順あみだくじ」。論文：2017年「刀根康尚のデジタル・サウンド作品と、ルーツとしての1960年代の作品と思考」。他、グループ展への出品、イベント出演、委嘱作曲等。

WEBサイト：<http://7x7whitebell.net/>

・皆藤 将 (かいどう まさる) Masaru Kaido

新・方法主義者。生年月日：1984年10月14日、国籍：日本、居住地：東京都、出身地：東京都。血液型：A
性別：男性、身長：166cm、体重：52.5kg、職業：会社員、趣味：サイクリング。

近年の参加展覧会・プロジェクトに、「よそのアート」(2016)、Three Delta Triangles「第三世界」(2017)、
「人工知能美学芸術展」(2017-18)、「始末をかく」(2017-18)など。

WEBサイト：<http://masarukaido.com/>

1.3.3. SNS の活用

グループ「新・方法」は活動開始時より、Twitterを用いています。Eメール配信作品、機関誌を配信した直後、イベント出演や展覧会のお知らせがある場合、構成員3名は1分ごとに、それぞれに用意された文章を順番にtweetします。各文章の末尾には「#newmethod」というハッシュタグを付けています。グループ「新・方法」内ではこの行為を「Twitter戯曲」と呼称しています。

Twitter戯曲中、ある1名の構成員が書き込んだ文章を、他の2名は引用なしリツイートします。また、用意された文章の書き込みが全て終わった後、構成員の平間貴大は一連のTwitter書き込みを「Togetter」と呼ばれるサービスを用いてまとめます。「新・方法」のウェブサイト上でこれを掲載しています。

2012年3月から、Eメール作品配信、機関誌を配信した直後、イベント出演や展覧会のお知らせを、構成員である皆藤将がFacebookに書き込み、各構成員はそれをシェアします。

1.3.4. 会合

グループ「新・方法」は構成員同士で活動内容について会合を行います。会合は非公開で行われます。ただし例外的に会合内容が公開されることや、その様子の記録写真を公開することはあります。

1.4. グループ「新・方法」構成員の状況

1.4.1. 国別所属構成員数

以下は、グループ「新・方法」構成員の国別居住地の表です。

セグメントの名称	構成員数 (人)
日本	3
北米	0
中南米	0

欧州	0
アジア・オセアニア	0
アフリカ	0
その他	0
合計	3

2019年5月現在

1.4.2. 構成員男女比率

以下は、グループ「新・方法」構成員の男女比率の表です。

性別	構成員数（人）	比率
男	3	100%
女	0	0%

2019年5月現在

1.4.3. グループ「新・方法」構成員の状況

以下は、グループ「新・方法」構成員の平均年齢及び平均所属年数の表です。

構成員数（人）	平均年齢（歳）	平均所属年数（年）
3	33.3歳	7.6年

2019年5月現在

1.4.4. 英語監修

グループ「新・方法」は宣言、作品、機関誌、お知らせをEメール配信する場合、日本語、英語の2カ国語をそれぞれ1通ずつ配信します。グループ「新・方法」では活動開始時より現在まで、松下学（まつした・まなぶ）氏を英語監修者に迎えています。

1.4.5. 機関誌編集者

Eメール機関誌「新・方法」は、過去に編集を第三者へ委託していました。2016年2月4日発刊の第48号からは、グループ「新・方法」自身が編集をしています。期間及び号数ごとの編集者は下記表の通りです。

期間	号数	編集者
2010年10月4日～2012年2月4日	第1号～第16号	皆藤将 (2012年2月18日から構成員)
2012年3月4日～2015年12月4日	第17号～第47号	M
2016年2月4日～2019年4月4日	第48号～第67号	新・方法

1.5. 「方法」の概要と「新・方法」との関係性

1.5.1. グループ「方法」の概要

グループ「新・方法」は、「方法」について、以下のように説明しています。

「方法主義は2000年から2004年まで活動していた、グループ「方法」の掲げる主義です。方法主義は芸術における還元主義の一種ですが、フォーマリズムとは違い、形式ではなく方法への還元を行うことによって、絵画・詩・音楽という異なる形式を単一原理によって語ることを目的としていました。メンバーは中ザワヒデキの呼びかけにより集まった3名の美術家・詩人・音楽家でした。」（新・方法メールインタビュー（和訳）より）

<http://7x7whitebell.net/new-method/interview101019.html>

（参考）方法 https://www.aloalo.co.jp/nakazawa/method/index_j.html

1.5.2. グループ「新・方法」との関係性

グループ「新・方法」は、「方法」と「新・方法」の関係性について、以下のように説明しています。

「グループ「新・方法」の掲げる主義は新・方法主義です。新・方法主義という単語には方法主義という単語が含まれています。「新・方法主義宣言」では、方法主義は「参考」としての扱いです。私たちは方法主義を参考にしますが、方法主義を行動原理とするというわけでは必ずしもありません。新・方法主義は、方法主義とは別物です。」

（新・方法メールインタビュー（和訳）より） <http://7x7whitebell.net/new-method/interview101019.html>

2. 【活動の状況】

2.1. 活動方針、活動環境

2.1.1. グループ「新・方法」の活動の基本方針

グループ「新・方法」は、2010年9月4日に「新・方法主義宣言」を発表し、一貫してその主義に基づき活動を行っています。以下に「新・方法主義宣言」の全文を掲載します。

新・方法主義宣言

われわれはここに新・方法主義を宣言する。
新・方法主義宣言は、新・方法主義の宣言である。
新・方法主義は、ここに宣言されたものである。
われわれは新・方法主義者である。

(参考) http://aloalo.co.jp/nakazawa/method/01manifesto1_j.html

(開設) <http://7x7whitebell.net/new-method/>

西暦2010年9月4日

起草と立会 平間貴大

起草と立会 馬場省吾

起草と立会 中ザワヒデキ

以降、2011年「新・方法主義第二宣言」、2012年「新・方法主義第三宣言」、2013年「新・方法主義じゃんけん宣言」、2014年「新・方法主義第四宣言」、2015年「新・方法主義Shift__JIS宣言」を発表しました。

グループ「新・方法」に所属する構成員は、「新・方法主義」に基づき活動をする「新・方法主義者」です。また、後述の元構成員・中ザワヒデキは「元方法主義者」および「元新・方法主義者」の肩書を名乗っています。

2.1.2. 活動上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標

グループ「新・方法」は活動上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標を用いていません。

2.2. 活動等のリスク

グループ「新・方法」の活動その他に関するリスクについて、観客の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる主な事項を記載しています。また、必ずしもリスク要因に該当しない事項についても、観客の判断上、重要であると考えられる事項については、観客に対する情報開示の観点から積極的に開示しています。所属構成員はこれらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努めています。

2.2.1. 経済環境

2018年度（2017年4月1日～2018年3月31日）における世界経済は、米国で雇用・所得環境の改善を背景に堅調な景気拡大が続いたものの、ユーロ圏は環境規制強化の影響により成長率が鈍化、新興国についても中国で個

人消費や輸出が伸び悩むなど、一部に減速の動きが出始めました。加えて、米中貿易摩擦の影響や米国の利上げに対する懸念、英国の EU 離脱交渉の難航等により、今後の世界経済に対する不当面感が強まりました。日本では、オリンピック・パラリンピック関連投資や省力化を中心とした設備投資の需要は落ち着きを見せています。グループ「新・方法」は世界経済の影響を受けるリスクを負っています。

2.2.2. 為替レートの変動

グループ「新・方法」は、輸出入、及び外国間などの貿易取引において円に対する外国通貨レートの変動リスクは直接的には負っていません。一方、為替レートの変動による経済状況の変動は引き続き注視しています。

(参考)「為替介入」(2010年) http://7x7whitebell.net/new-method/intervention_j.html

2.2.3. 作品制作材料の供給による影響

国際紛争等によってグループ「新・方法」が作品を制作する際の材料が供給されない事態が発生した場合、グループ「新・方法」が作品を制作できないリスクがあります。

2.2.4. 特定の発表媒体への依存

グループ「新・方法」はEメールおよびウェブサイトを主な作品発表媒体としています。そのため、サーバーおよびネットワークの障害によってウェブ作品やメール配信作品の記録、パフォーマンス作品の記録等、ウェブ上に保管されているグループ「新・方法」に関する事柄が閲覧できなくなるリスクを負っています。

2.2.5. 知的財産権

グループ「新・方法」の各構成員は、ウェブ作品及びその他物品による作品、パフォーマンス作品等の著作権を保持しています。これらの権利が第三者によって侵害されるリスクを負っています。

2.2.6. 作品の欠損

グループ「新・方法」のウェブ作品およびパフォーマンス記録は、サーバーの故障等による欠損のリスクを負っています。一方で、メール配信作品は多数の第三者のメール・サーバーへ保管されており、分散され保存されているとみなし、メール所有者は多数いることを想定しています。

2.2.7. 新作品発表力

グループ「新・方法」は、斬新で魅力的な新作品を制作できると考えていますが、構成員の創作意欲・時間・資金には不確定な要素が含まれており、新作品の発表力は変動のリスクを負っています。2012年が最盛期で計13作品を発表していますが、2019年は0作品、2018年は1作品、2017年は0作品と、近年の新作品発表力は著しく低下している可能性があります。

2.2.8. 価格競争

芸術業界における価格競争は大変厳しく、作品の低価格化と高騰が同時に進行している状況です。グループ「新・方法」の作品も価格競争力が保持できないリスクを負っています。

2.2.9. 自然・人的災害による影響

グループ「新・方法」は、自然・人的災害によって構成員が欠員する、またはサーバー上に保管されている作品

記録が欠損するリスクを負っています。

2.2.10. 構成員欠員

グループ「新・方法」は、欠員によって構成員が減少する可能性があります。構成員の減少は、活動停滞につながるリスクを負っています。

2.3. 活動上の重要事項

2.3.1. これまでに締結した契約

活動開始時よりこれまでにグループ「新・方法」が締結した重要な契約は特にありません。作品の売買契約等は複数あり、グループ「新・方法」が制作した作品を所有している個人が複数人います。

2.3.2. 脱退及び加入した構成員

2012年2月18日に中ザワヒデキが脱退し、同日に皆藤将が加入しました。それ以外の構成員脱退及び加入はありません。

2.4. グループ「新・方法」の活動に関する状況分析

グループ「新・方法」の主要な活動指標等の推移は「1.1. 主要な活動指標等の推移」に記載の通りです。所属構成員の視点によるグループ「新・方法」の状況に関する認識及び分析内容は次の通りです。

2.4.1. 宣言発表数の減少

グループ「新・方法」は2010年9月4日から2015年9月4日にかけて6つの宣言を発表してきましたが、2015年「新・方法主義 S h i f t _ J I S 宣言」・「New-Methodicist ASCII Manifesto」以降、宣言を発表していません。宣言の発表は停滞していると言えます。

2.4.2. 作品発表数の減少

グループ「新・方法」のEメール配信作品の発表は年々減少し、2018年『『展示』してもらえ！』を最後に、発表していません。Eメール配信作品の発表は停滞していると言えます。

2.4.3. 機関誌「新・方法」の継続的な配信

機関誌「新・方法」は2010年10月4日から毎月、2013年10月4日からは隔月で、寄稿とウェブ作品を掲載してメール配信で発刊しています。毎月の寄稿者からの寄稿文を掲載し、構成員3名によるウェブ作品を発表する機関誌として機能しています。機関誌「新・方法」の隔月での発刊は、グループ「新・方法」による活動として継続されています。

ただし、近年はイベントへの出演や個展等展覧会の開催もなく、初期の多角的な活動に比してその活動自体はルーチン化しているといえるでしょう。

2.5. 未来に関する決定事項

グループ「新・方法」は、2010年のインタビューで、新・方法主義の次のアクションや今後の展望について以下のように述べました。

「平間：次のアクションは次のアクションとして、今後の展望は今後の展望として考えています。

馬場：定期的にはEメール機関誌「新・方法」を毎月4日に配信予定ですが、作品は突発的に発表する可能性があります。私たちが2010年9月21日に行った「為替介入」は後者の一例です。今後の展望については、新・方法主義が趣味ではなく主義と自任している以上、私たちから述べることはありません。

中ザワ：「新・方法」が結成された以上、その解散が展望されています。そしてその解散は、「新・新・方法」の結成を展望することになるでしょう。」

新・方法メールインタビュー（和訳）

<http://7x7whitebell.net/new-method/interview101019.html>

新・方法主義者は同語反復を実践する者として、未来の予測や決定とは相容れないと考えています。機関誌「新・方法」第15号寄稿者の田中翼はこれを「同語反復による無内容化によって、マニフェストの拘束性からの自由が実現し、教条の無い『主義』が成立する」と述べました。

グループ「新・方法」の構成員は、新・方法主義の実践と日常生活を切り離しています。全てのことが同語反復として必然性が無い、という主義を日常生活で実践すると、論理が破綻し、日常生活が送れなくなることは明らかだからです。

新・方法主義の未来について語っているのは、例えば、機関誌「新・方法」第28号寄稿者の東野大地が述べている「『10年代』派である新・方法主義者の諸君は今から『20年代』『30年代』に備えておいた方がいいかもしれない」のように、外部からの指摘や批評によってのみでした。

一方、「新・方法」が結成された以上、その解散が展望されてもいました。新・方法主義者にとって解散の時期を予測することはできません。

新・方法主義者が将来に関する決定事項を記載する場合、記述者は、新・方法主義者ではない時点となります。「新・方法報告書」はグループ「新・方法」によって記述がされています。この「将来に関する決定事項」が書かれた時点により、平間貴大、馬場省吾、皆藤将は新・方法主義者ではなくなり、グループ「新・方法」は構成員が0人となります。